

令和5年度

釧路工業高等専門学校学生募集要項（追加募集）

| | 出願書類受付期間 | 試験日 | 合格発表 |
|------|-------------------------|---|--------------|
| 前半日程 | 令和5年2月22日（水） ～24日（金） | 令和5年2月28日（火） 又は3月1日（水） ※どちらか受験者が希望する日 | 令和5年3月2日（木） |
| 後半日程 | 令和5年3月17日（金） ～20日（月） | 令和5年3月22日（水） | 令和5年3月23日（木） |

独立行政法人 国立高等専門学校機構

釧路工業高等専門学校

NATIONAL INSTITUTE OF TECHNOLOGY, KUSHIRO COLLEGE (KOSEN)

〒084-0916 釧路市大楽毛西2丁目32番1号
釧路工業高等専門学校 学生課修学支援係
TEL (0154) 57-7222
FAX (0154) 57-6256
Email kyoumug@office.kushiro-ct.ac.jp
URL <https://www.kushiro-ct.ac.jp/>

釧路高専の教育理念・教育目標・学習目標

教育理念

釧路工業高等専門学校（以下「本校」という）は北海道東部に位置する技術系高等教育機関として、地域産業の発展に貢献できる技術者や、国内外で活躍できる技術者の育成、また、産業界への技術支援、技術者のキャリアアップ教育、地域住民の生涯教育や社会活動への支援を任務としている。これらの実現のために「創造力と問題発見・解決能力を備えた実践力のある技術者を育成し、地域の社会的・技術的要請に応え、地域と連携し、地域に貢献する」ことを理念とする。

教育目標

1. 人格をそなえ、自己を律する人物を育てる。
2. 広い視野を持ち、創造力豊かな技術者を育てる。
3. チャレンジ精神に富んだ人物を育てる。

学習目標

【準学士課程】（実践的・創造的技術者）

- A：（技術者として社会に貢献するために）人類の歴史的な背景、文化や価値観の多様性を理解し、地球規模で社会問題や環境問題を考える基礎能力、および技術が社会や環境に与える影響を認識し、技術者が社会に対して負っている責任を理解する基礎能力を身につける。
- B：（地域・社会に貢献するために）地域の産業や社会の抱える課題に対処できる基礎能力を身につける。
- C：（技術的課題を解決できるように）工学の幅広い基礎知識（数学、自然科学、情報技術、基礎工学）を修得し、それらを応用する能力を身につける。
- D：技術者として自己の基盤となる専門分野の知識を修得し、それを応用する能力を身につける。
- E：技術的課題を分析・総合し、解決するための計画をたて、その計画を実行して課題を解決する基礎能力を身につける。さらに、チームワークで仕事をやる基礎能力を身につける。
- F：文章、口頭、図表や視覚的な方法によって、効果的にコミュニケーションができる基礎能力を身につける。すなわち、日本語で論理的に記述し討論する能力、および簡単な論理的文章を英語で記述し、基本的な英会話によるコミュニケーションを行うための基礎知識を身につける。
- G：（技術の進展や社会の変化に対応できるように）継続して専門知識や関連する分野の知識を学習する習慣を身につける。

アドミッションポリシー

釧路高専入学者受入方針

こんな「あなた」に来てほしい！

… 釧路高専が求める人の姿 …

工学を学ぶための基礎学力を備えた人で

◎技術者になりたい人や「ものづくり」に興味のある人……………夢と創造性

◎向上心をもって学校生活に取り組もうとする人……………意欲と努力

◎社会の物事に疑問や関心を持ち、よい社会を築こうとする人……………意識と改革

◎約束ごとを守り、まわりの人たちを尊重する人……………敬意と協調

◎失敗を恐れず、何度でも頑張ってみようとする人……………勇気と挑戦

「技術」や「数学」「理科」が大好きな人、生徒会やクラブ、ボランティア活動に積極的な人、新しい「もの」や「方法」を創りだして社会の役に立ちたい人、そして「やる気」にあふれた人 … そんな人たちを歓迎します。

釧路高専がいま求めているのは、きっと「あなた」です。

スマートメカニクスコース

情報工学分野と機械工学分野を融合し、様々な機能を実現するために製品に組み込まれるコンピュータシステム技術、高度情報化社会を支えるプログラミング技術、人間と機械間の情報をやり取りする情報の流れを制御するためのシステム技術、人間と機械・システム間の橋渡しをするマンマシンインターフェース技術、機械とセンサーやコンピュータ技術を結合させて機械の高度化を図るメカトロニクス技術等を活用することができる、高度な技術者を養成します。本コースでは、それぞれ一つの専門分野を体系的に学び、その後もう一方の専門分野の知識を吸収することにより、目標とする技術者を養成します。

○情報工学分野

スマートメカニクスコースの中で、特に大量の情報を効率よく「取得」「加工」「蓄積」「伝達」するなどの情報工学を中心とした技術者になるため、ネットワークの仕組み、プログラミング技術、データベース技術、人工知能（AI）技術など、情報工学の基礎から応用までの幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. コンピュータの動作原理やプログラミングに興味のある人
2. データベースやネットワークなどのITの応用技術を修得したい人
3. 実践的な技術や専門知識を学習し、IT社会に貢献したい人

○機械工学分野

スマートメカニクスコースの中で、特に「エネルギー」「情報」「機械材料」をつくり出す“ものづくり”などの機械工学を中心とした技術者になるため、力学、設計・製図、材料・加工、メカトロニクス、熱・流体、情報処理技術など、幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 機械が好きで、みずから新しい“ものづくり”に挑戦できる人
2. 人のために役に立ち、地球に優しい“ものづくり”に関心のある人
3. グローバルな視点に立ち、安全な“ものづくり”に貢献したい人

エレクトロニクスコース

電気工学分野と電子工学分野を融合し、電気エネルギーや計測制御と光・電子デバイス、電子制御と情報通信技術を学び、人々の安心・安全で豊かな生活を支えるために、社会基盤技術から情報通信技術までの幅広く全ての産業に貢献出来る高度な技術者を養成します。本コースでは、まずは電気・電子分野の共通基礎科目を学び、その後それぞれの専門分野を体系的に学ぶことにより、目標とする技術者を養成します。

○電気工学分野

エレクトロニクスコースの中で、特に人々の暮らしを支える電気エネルギーの「生成」「伝送」「利用」などの電気工学を中心とした技術者になるため、電気の基本から始まり、電気エネルギーの作り方や送り方、電気エネルギーを機械エネルギーに変える方法、機械やロボットの仕組みなど、幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 発電，送電，新エネルギーに興味のある人
2. 電波，放送，通信，画像処理に興味のある人
3. コンピュータ，ロボット，モータに興味のある人

○電子工学分野

エレクトロニクスコースの中で、特に「電子デバイス」「情報通信」「電子制御」などの電子工学を中心とした技術者になるため、電磁気学、電気・電子回路、論理回路、光・電子デバイス、通信工学、プログラム言語などの電子工学に関する基礎から応用までの幅広い分野を学びます。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. ICT（情報通信技術）に興味があり、新しい情報伝達の仕組み（通信）を築きたい人
2. 「もの」の仕組みに興味があり、いままでにない物質（半導体）を創りたい人
3. コンピュータで「もの」を測ったり（計測）、自動制御によってロボットを自在に動かしたい人

建築デザインコース

○建築学分野

建築の「意匠と計画」「構造と材料」「環境と設備」に関する技術を学び、「使いやすさ」や「安全性」と共に、「空間の美しさ」を追求出来る高度な技術者を養成します。そのため、私たちは次のような人の入学を期待しています。

1. 建物の形やつくり方に興味がある人
2. 暮らしやすい環境に興味がある人
3. デザインすることが好きな人

学生募集要項

1. 募集定員

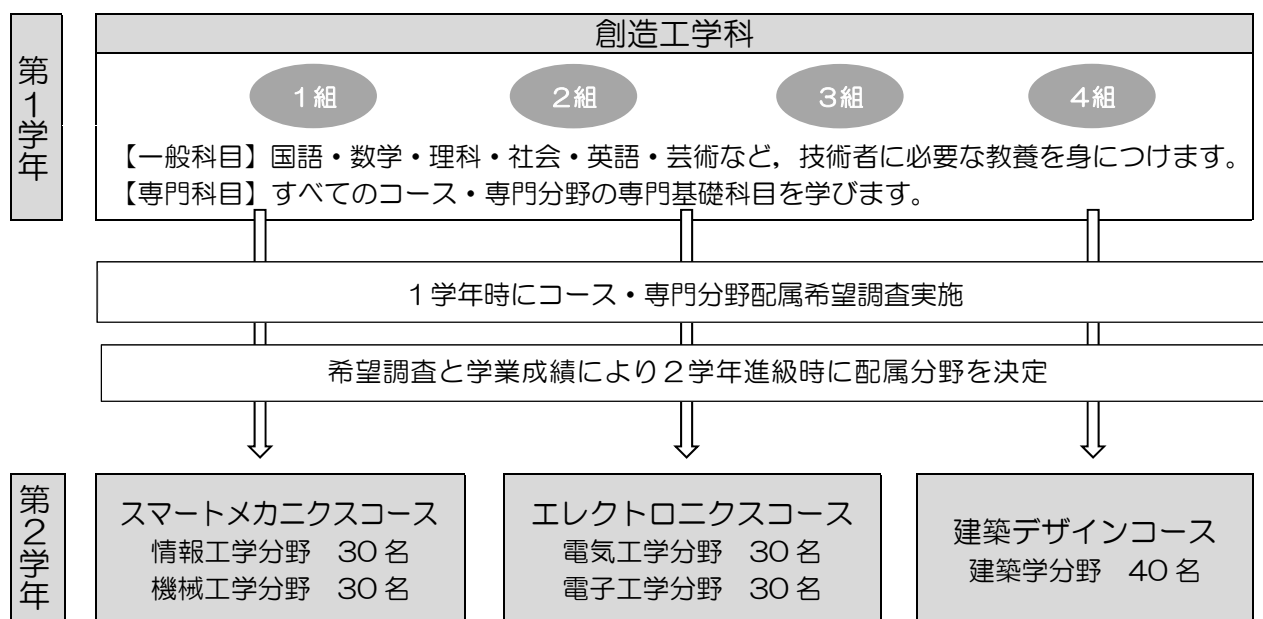
| 学 科 名 | 定 員 数 |
|-----------|-------|
| 創 造 工 学 科 | 相当数 |

2. コース・専門分野の選択

本校では全ての入学者選抜において「創造工学科」1学科で学生募集を行います。

本校に入学後、第1学年の全学生が共通の一般科目及び専門科目を学び、技術者に必要な教養や基礎となる専門知識を学びます。

第2学年への進級時に、学生が希望するコース・専門分野を選択し、学業成績順に希望するコース・専門分野に配属されます。



3. 出願資格

- (1) 中学校を卒業した者（令和5年3月卒業見込みの者を含む。）
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者（令和5年3月修了見込みの者を含む。）
- (3) 中学校を卒業した者と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第95条各号に該当する者）

4. 出願手続

(1) 出願書類受付

| | | |
|---------------------|---|------------------------------|
| 受付期間 | 前半日程 | 令和5年2月22日（水）から令和5年2月24日（金）まで |
| | 後半日程 | 令和5年3月17日（金）から令和5年3月20日（月）まで |
| 受付時間 | 9時から16時まで | |
| 受付場所 及び 書類送付先 | 釧路工業高等専門学校 学生課修学支援係 〒084-0916 釧路市大楽毛西2-32-1 電話 0154-57-7222 | |

(2) 出願書類等

| | | |
|---|-------|--|
| ① | 入学願書 | 本校ウェブサイトより様式をダウンロード及び印刷（A4）し、必要事項を記入（自筆）してください。 |
| ② | 写真票 | 本校ウェブサイトより様式をダウンロード及び印刷（A4）し、必要事項を記入してください。また、令和4年10月1日以降に撮影した上半身・無帽・正面向きで、縦7cm×横5cmの大きさの写真を貼ってください。 |
| ③ | 受験票 | 本校ウェブサイトより様式をダウンロード及び印刷（A4）し、必要事項を記入（自筆）してください。 ※受験票の写しをデータでお送りいたします。 |
| ④ | 個人調査書 | 本校ウェブサイトより様式をダウンロード及び印刷（A4）し、在籍（出身）中学校長が作成してください。 ※推薦選抜又は学力選抜で既に個人調査書を提出している場合は再提出不要です。 ※出願資格(3)に該当する者は履修証明書又は成績証明書とします。 |
| ⑤ | 志望動機書 | 本校ウェブサイトより様式をダウンロード及び印刷（A4）し、必要事項を記入（自筆）してください。 |
| ⑥ | 検定料 | 16,500円 検定料を最寄りの金融機関所定の振込依頼書、またはATMにより、下記振込先に振込みの上、取扱金融機関収納印を押した「検定料振込済証明書（金融機関所定の様式）」、またはご利用明細票等を必ず受け取り、提出してください（コピー不可） 既納の検定料はいかなる理由があっても返還できません。 ※振込期間 前半 令和5年2月22日（水）～令和5年2月24日（金） 後半 令和5年3月17日（金）～令和5年3月20日（月） 振込先 北陸銀行 釧路支店 普通口座 5062100 独立行政法人 国立高等専門学校機構本部 |

(3) 出願に当たっての注意事項

- ① 出願時にはコース・専門分野を選択することができません。第1学年は創造工学科の所属となり、コース・専門分野への配属は第2学年進級時に決定します。配属は、第1学年時に行う希望調査と学業成績により決定し、第2学年進級時に各コース・専門分野へ配属されます（希望するコース・専門分野に配属されない場合もあります。）。
- ② 出願書類の不備なものは受け付けません。また出願書類に不正の記載があった場合には、入学後であっても入学を取り消すことがあります。

(4) 出願書類等の提出

出願者は、上記書類等を整え一括（個人毎にクリップ止め）して在籍（出身）中学校長を経由し、本校学生課修学支援係へ必ず受付期間内に提出してください。また、郵送（簡易書留）の場合は、「釧路高専追加募集出願書類」と封筒に朱書きしてください。

なお、受付期間内に提出が困難な場合には、事前に在籍（出身）中学校から電話にて本校学生課修学支援係へ「在籍（出身）中学校名・学生氏名」を連絡の上、FAX（0154-57-6256）で出願書類一式を送信後、速やかに本校学生課修学支援係へ郵送（簡易書留）してください。

(5) 受験票等の送付

郵送での返送はいたしません。写しをデータでお送りいたします。

5. 選抜方法

本校が行う、面接及び個人調査書を総合的に判断して行います。

6. 検査の日時・場所

| | | |
|-------|--|---|
| 日 時 | 前半日程 | 令和5年2月28日（火）又は3月1日（水） ※どちらか受験者が希望する日 面接 10時00分～ |
| | 後半日程 | 令和5年3月22日（水） 面接 10時00分～ |
| 集合時間等 | ※面接時間等は、おってメール・電話等でお知らせします。 | |
| 場 所 | オンライン会場（オンライン受験） ※面接の実施に適した場所（中学校や自宅など）で受験してください。 | |

7. 合格発表

(1) 日 時 【前半日程】令和5年3月2日（木）9時00分

【後半日程】令和5年3月23日（木）16時00分

(2) 方 法 合格者の受験番号を本校正面玄関前に掲示するとともに、合格者に合格通知書を送付（願書に記載された受験生現住所）し、在籍（出身）中学校長に文書で合格者を通知します。また、本校ウェブサイトにも合格者の受験番号を掲載します。

なお、電話等による合否の問い合わせには、一切応じられません。

8. 入学確約書の提出

掲示もしくはウェブサイトにて合格を確認した者は（合格通知書は、合格発表日翌日に郵送します。）、【前半日程】令和5年3月17日（金）15時【必着】 【後半日程】令和5年3月27日（月）15時【必着】までに、本校ウェブサイトからダウンロードした「入学確約書」を在籍（出身）中学校長を経由し、本校学生課修学支援係へ提出してください（FAX・メール可）。

入学を辞退する場合は、【前半日程】令和5年3月17日（金）15時【必着】 【後半日程】令和5年3月27日（月）15時【必着】までに、在籍（出身）中学校長経由により、「入学辞退届（様式任意）」を、本校学生課修学支援係へ提出してください（FAX・メール可）。

なお、FAX・メールで送信する場合には、速やかに「原本」を郵送でも提出願います。

○オンライン受験について

1. オンライン面接は、「Microsoft Teams」により実施します。実施のためには、以下の条件を満たす必要があります。

- ①インターネットが利用できること（光回線などで通信速度に問題がないこと）
- ②カメラとマイクが利用できるPCが利用できること、もしくはMicrosoft Teams アプリケーションがインストール可能なスマートフォンまたは、タブレット端末が利用できること
- ③面接の実施に適した周囲に人のいない静かな場所（中学校や自宅など）が利用できること
- ④事前に接続試験を実施できること（マイクの音声、音量、画面などを確認）。

【前半日程】令和5年2月27日（月）13：30～17：00

【後半日程】令和5年3月20日（月）13：30～17：00

また、接続試験の結果、Microsoft Teams にて面接が実施できないと判断される場合、他のアプリケーションにより対応が可能なこと。

※「kyoumug@kushiro-ct.ac.jp」からのメールを受信できる様、ドメイン設定を解除して頂いただくか、又は本校ドメイン『kushiro-ct.ac.jp』を受信リストに加えていただきますよう、お願いします。

※インターネット環境等、オンライン受験を実施する条件を満たすことができない場合は、本校学生課修学支援係（TEL 0154-57-7222）まで御連絡ください。

2. 接続手順等について

- ①PCで受験する場合はブラウザ又はMicrosoft Teams アプリケーションを利用します。
- ②スマートフォンまたは、タブレット端末で受験する場合はMicrosoft Teams アプリケーションのインストールが必要になります。
- ③別紙の接続方法を参考に、オンライン会場に接続してください。接続の開始は、面接開始時刻の5分前までに行ってください。

※接続テストについては、メールにてお送りする本校の指定する接続テスト時間内に接続を行ってください。

- ④「ゲスト」として参加していただきます。

現在「Microsoft Teams」を利用されており、アカウントを所持している場合、一度ログアウトしてから、会議に参加してください。その際に求められる「名前」は、【受験番号・氏名】としてください。（例：〇〇〇〇〇・高専 太郎）

- ⑤受験者のマイク・カメラは、こちらから指示をするまで常にONにしてください。
- ⑥面接中に接続が切れてしまった場合は、再度、前述のURLからログインしてください。何らかの理由で接続ができなくなった場合は、本校学生課修学支援係（0154-57-7222）へ電話連絡してください。また、面接中の録画、録音、画面のキャプチャー行為は禁止します。

○受験上及び修学上特別な配慮を必要とする場合について

受験上合理的な配慮を必要とする場合には、出願前に相談してください。

○個人情報の取り扱いについて

入学志願者から提出された出願書類に記載されている情報及び選抜に用いた試験成績・評価といった入学者選抜を通じて取得した個人情報は、入学者選抜の資料として利用するとともに、次の目的のために使用します。

1. 入学後の教育・指導
2. 入学料、授業料の免除申請の審査
3. 奨学金申請の審査
4. 教育制度・入学者選抜制度の改善のための調査・研究

○その他

- (1) 募集要項及び出願書類は、本校ウェブサイトからダウンロードしてください。
- (2) 問い合わせ等については、学生課修学支援係（TEL 0154-57-7222）へ照会してください。

○学寮入寮審査について

追加募集合格者の入寮希望者は、学寮の受入れ可能人数まで入寮ができます。

入寮の可否については、合格発表直後に学生課修学支援係（TEL 0154-57-7222）へ照会してください。

○学費・免除制度等

- (1) 入学時の諸経費（令和4年度実績）

入学料 84,600円

授業料 234,600円（年額）

- ※ その他、教科書代、災害共済掛金等の諸経費（100,000円程度）がかかります。
また、在学中に授業料の改定が行われた場合には、改定時から新授業料を適用します。

- (2) 入学料免除

入学前1年以内において、入学する者の学資を主として負担している者（学資負担者）が死亡、又は、学資負担者が風水害等の災害を受けたことより、入学料の納付が著しく困難な場合は入学料が免除される制度があります。

- (3) 高等学校等就学支援金制度

高等学校等就学支援金制度により、入学後36ヶ月間は、親権者（保護者）の所得に応じて授業料が減額されます。

- (4) 授業料免除

○大学等における修学の支援に関する法律

4～5学年及び専攻科学生を対象に、住民税非課税世帯及びそれに準ずる世帯の学生に対し、授業料及び入学料の減免並びに給付型奨学金の支給を受けられる制度があります。

○本人の学資を主として負担している者が死亡又は風水害等の災害を受けた場合、新型コロナウイルス感染症の影響により世帯収入が激減した場合に、授業料及び入学料の減免並びに給付型奨学金の支給を受けられる制度があります。

(5) 奨学金制度

学業、人物ともに優れ、経済的理由のために修学が困難であると認められた学生に対して、選考のうえ次の機関等から奨学金が貸与されています。

なお、4～5年生、専攻科には第二種奨学金制度があります。

〔令和4年度の金額〕

| 種 類 | 区 分 | 1～3年生 | 4～5年生 | 専 攻 科 |
|-------------------|------------------------------------|---------|---------|---------|
| 日本学生支援機構 (第一種) | 自宅通学 | 10,000円 | 20,000円 | 20,000円 |
| | | 21,000円 | 30,000円 | 30,000円 |
| | 自宅外通学 | 10,000円 | 45,000円 | 45,000円 |
| | | 22,500円 | 20,000円 | 20,000円 |
| | | 30,000円 | 30,000円 | |
| | | 40,000円 | 40,000円 | |
| | | 51,000円 | 51,000円 | |
| 上記以外 | なお、これ以外にも各市町村等で奨学金制度を設けていることがあります。 | | | |